



三芳町立藤久保小学校 学校便り

令和6年3月22日発行

卒業式号

ふじっ子

教育目標 やさしく かしく つよい子

☎258-0555

在籍児童数 721名

祝 卒業

6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

小学校6年間の課程を修了した証として、卒業証書を渡しました。

みなさんが受け取った卒業証書には、うれしいときに共に喜び、悲しいときにそばに寄り添い、困った時に手を差し伸べ、間違った時に正しい道を示してくださった家族や地域の方々、先生方や友だちなど、多くの方の思いや願いがあることを、決して忘れないでください。

令和2年に始まったコロナ禍は、みなさんにも大きな負担となったことでしょう。小学校生活の半分にもなる3年間、行事の変更や縮小があり、体験や学びの機会も減ってしまいました。しかし、ようやくコロナが収束に向かい、本年度は少しずつ元の学校生活が戻ってきました。6年生となったみなさんは、先輩たちのお手本を見ることが少なかったにもかかわらず、様々な場面で活躍してくれました。運動会での一糸乱れぬフラッグ演技や、音楽会での迫力ある演奏は、下級生たちの心を動かしたはずです。最上級生として学校の中心となってくれたみなさんの姿は、後輩たちのよいお手本となりました。がんばった自分のことを、大いに褒め、大いに自信にしてください。今の藤久保小学校があるのは、みなさんのおかげです。

4月から、いよいよ中学生です。中学時代は、新たな分野の勉強に励んだり、共通の目標に向かって共に汗を流したりできるときです。一方、大きな失敗や苦しさ、誘惑に出合うときでもあります。どんなときでも、心と体のバランスを取り、一日一日を大切に、充実した生活を送ってほしいと思います。

今この時代には、たくさんの課題が山積しています。少子高齢化、高度情報化、地球温暖化など数え上げればきりがありません。そして今、この瞬間にも、世界では争いが起き、命の危機にさらされている人々がいます。これからの未来、人々の多様性を認め、世界各国との友好な関係をつくり、共栄・共存の道を進むのか、異なる意見を排除し、対立・差別の道を進むのか、それは、この先の主役となっていく、みなさん次第です。

みなさんはこの1年、藤久保小学校のリーダーとしての役割を立派に果たしてきました。時には投げ出したくなったり、さぼりたくなったりしたこともあったでしょう。しかし、最後まで協力してやり遂げ、達成感や充実感を得たことは間違いなくあったはずです。その力は、みなさん全員の中にあります。

新しい生活の中でも、自分の得意分野でリーダーシップを発揮し、胸に抱いた夢や希望を実現していきましょう。色々なことに挑戦し、その中から生涯にわたって貫いていけるものを見つけ出していきましょう。そして、みなさんが、自分と周りの人たち、さらには日本の未来をも、豊かで幸福なものにしてくれることを願っています。

「どこにいるかではなく、そこで何をするか。」この言葉をみなさんに送ります。悩んだ時、つらい時、この言葉を思い出してください。みなさんの活躍を楽しみにしています。

令和6年3月22日

三芳町立藤久保小学校

校長 宇佐見 宏一

